



国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

1989.2.16

No.977

闘う労働運動を 自らの力でつくる



「右翼労働統一に反対する12・17労働者集会」に闘う労働者510名が結集した。(於、日本橋公会堂)

2・26「全国労働組合 交流センター」結成大会へ!

天皇の死から、天皇賛美の大キャンペーン、反動の嵐がうず巻き、国家に楯突くは「非国民」と日帝警察権力、右翼あげて天皇制、「元首」化攻撃に突き進み、日本列島はまさに戒厳令下とも言えるほどである。

過去の歴史を見れば、天皇が前面に出る時、それはかならず日帝が侵略戦争につき進む時であった。今またそれをくり返さんとしているのだ。

今こそ労働者階級は、戦争に、天皇制に反対し闘わなければならない。しかし、総評は完全に屈服し自ら解散を決め、「連合」は日帝の人民支配の道具として作られた労働組合ならざる労働組合である。戦争政策に手

をかし、労働者の権利、利益を売り渡すものでしかない。その行きつく先が鉄道労連・革マルの姿だ。

鉄道労連は自民党支持を公然とうち出し、組合費から自民党への献金までも決定し、「日の丸労働運動」をかかげ、侵略の思想「大東亜共栄圏」をさけび、天皇・日帝の下僕と化している。現代の産業報国会「連合」を断じて許してはならない。

また、われわれは日共統一労働組にも断固反対する。彼らは一貫して労働運動を裏切ってきた。国鉄「分割・民営化」に何んら闘わなかったばかりか、今また、清算事業団闘争を放棄し、「広域配転」に率先協力している。

統一労働組では聞えない。何人の「国会議員」を送る。

清算事業団闘争に勝利するぞ!
原職奪還の
その日まで
採用通知がこなかった日から二年

きょうでJRの採用通知がこなかった日から二周年になる。われわれは、最終一貫して「JR」に採用を」ということで闘ってきたんだ。分割・民営化は労働組合つぶしそのものだった。当局は、労働者をつぶすためにありとあらゆる手段を使い、われわれを排除するために、停職処分をかけ、なおかつJR不採用という二重の処分をかけてきた。われわれは、組織の一員として組合の指示のもとに闘ってきただけなんだ。

この一年、組織をあげて闘おう! これはレッドパージそのものだ。この一年間原職奪還にむけて七五〇名の組織をあげて闘い抜くことで勝利の展望が明らかになって来るんだ。

この間、各地の地労委で「JRの不当労働行為」が暴かれた。これは裁判にも影響してくる。ストライキ・実力闘争で闘おう。全力で闘い抜く!

そうである以上、勝利するためには原職・原職奪還しかない。そうしたことから見ると、北海道・九州の事業団の本州への「広域採用」は国労指導部の屈服に問題がある。北海道・九州もわれわれ本州も身分は同じ。本州JRは欠員でも本州事業団から絶対に採用しない。これはレッドパージそのものだ。この一年間原職奪還にむけて七五〇名の組織をあげて闘い抜くことで勝利の展望が明らかになって来るんだ。

この間、各地の地労委で「JRの不当労働行為」が暴かれた。これは裁判にも影響してくる。ストライキ・実力闘争で闘おう。全力で闘い抜く!

この間、各地の地労委で「JRの不当労働行為」が暴かれた。これは裁判にも影響してくる。ストライキ・実力闘争で闘おう。全力で闘い抜く!

この間、各地の地労委で「JRの不当労働行為」が暴かれた。これは裁判にも影響してくる。ストライキ・実力闘争で闘おう。全力で闘い抜く!

2・26労働者集会

「全国労働組合交流センター」結成大会
日時 2月26日(日)午後一時
ところ 国労会館(東京駅八重洲口)



反合・連転保安確立

清算事業団闘争勝利

八九ニダイ改阻止

ストライキで闘おうぞ!

「連合」や統一労働組に労働者の未来はない。われわれが自らの力で切り開くのみだ。怒りをたぎらせ、闘う道を求める労働者は限らない。「反帯」だ。自分達の力で、責任で、自分達で闘う労働運動を作り出そう。二・二六労働者集会に総結集し、「全国労働組合交流センター」の結成を待ちまわろう。労働者の未来は「交流センター」にある。